

○どこでも積極的にあいさつができる子 ○個性を生かし主体的・対話的に課題解決する子 ○進んで思いやりのある行動がとれる子

# 北大和小だより

## 12月号

令和3年11月30日  
大和市立北大和小学校  
〒242-0001 大和市下鶴間685  
ホームページ <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-kita/>



### 「学校行事の大切さ」

引き続き、日頃の健康観察と、本人やご家族の体調不良に際して、早めに登校を控える判断をしていただき、誠にありがとうございます。大和市内のコロナウイルスに関する感染者数も今のところ0名が続く幸いな状況です。しかしながら、ほとんどの児童はワクチン接種を行っていない状況があり、継続した感染対策の必要を伝えているところです。

さて、10月・11月と学校内外の行事を行うことができました。修学旅行や遠足などの行事を行い、芸術鑑賞会は分散で開催、先日は校内の交流行事「北小ミュージアム」が行われ、各クラスで展示するものを協力して考え、展示は工夫を凝らしたものとなり楽しい雰囲気でした。児童にとっては「楽しみ」なことが多い2学期になりました。

昨年度は、多くの行事が「中止」となり「学校生活＝授業の学習」でした。今年度も2学期の初めは、「厳しい状況が続くのか」と思っていました。現在の感染状況となり感染対策をしながら「できること工夫して」学校行事を「ゆっくり」「しっかりと」進めることができました。

学校行事は学校生活を豊かにするとともに、よりよい学校生活を築くために体験的な活動を集団で取り組むことで、主体的に集団の中の自分を自覚し、他者を理解し、力を合わせて工夫することの大切さや、協力をして目標に向かって考え工夫することの「よさ」を知り、「楽しさ」を味わうことに大切な意義があります。

時には集団の中で対立したり、自分の思いが全体に受け入れられなかったりなどの「ネガティブ」な思いも経験することがあります。しかし、卒業後や社会に出た時に、理不尽さに出会ったり、思ったようには上手くいかなかったりした時に、その「経験」が「耐性」となり「頑張れる力」の源になるのだと思います。楽しかった面、嫌だった面を合わせて「頑張ったこと」が、この学齢の児童にとっては貴重な体験となることは間違いのないと思います。

学校行事の様子や感想を是非お子様に聴いてみてください。結果はどちらにしても「頑張ったね」と褒めてあげて欲しいと思います。認めてもらったことで、「また頑張ってみよう」と次につながっていくはずです。長い期間、学校行事ができないが続いただけに、今、児童の豊かな表情を見て「行事の大切さ」を改めて考えました。

校長

【教室用の上着の用意をお願いします。】

最近では春秋の穏やかな日が短く、一気に暑さ寒さが交代するようになります。11月になり一段と冬の影が押し寄せてくるのを感じるようになりました。暖房も使用してまいります。学校の教室は昨年同様、感染対策を基本として窓を少なくとも2方向は開けて換気をしながら暖を取るという状況にあります。風の入り具合によって窓の開閉は調整しますが、閉め切ってしまうわけにもいかず、多少冷えることがあります。冷えによる体調不良を防ぐためにも、教室用の上着を記名のうえ、ご用意いただけると幸いです。